

最高峰のインプラント治療を、安心価格で

はらだ歯科クリニック 京急蒲田インプラントセンター

〔前 章〕歯の治療を必要とされている方へ

いま、あなたの歯は、どのような状態ですか？

軽度の虫歯を見つけ、治療をお考えでしょうか。
進行して痛みが伴う虫歯にお悩みでしょうか。
それとも、歯を失ってしまったので、入れ歯かブリッジ、
またはインプラントにすべきか、迷っておられるのでしょうか。

歯の悩み、それは実に人それぞれ。
たとえば虫歯ひとつでも、感じる痛みは人によって千差万別です。
その「ひとりひとり異なる歯の悩み」は、見過ごされるべきものではありません。

なぜなら、**歯は何ものにも代えがたい、あなただけの財産**だからです。

人は、生きるために食べ物を体内に取り入れなければなりません。
自分の歯で咀嚼する、噛み砕くということは、まさに生きるための第一歩。
正しく噛めなければ、食べ物の栄養素を体内にきちんと取り入れることができず、
脳も正しく働きませんし、顔の輪郭さえ変わってきてしまいます。
そしてやがては、身体に変調をきたすことになります。

人は誰でも、財産つまり“自分の歯”を守っていかなければなりません。
もし歯を失った代わりに人工の歯を手に入れるなら、
その“質”にも、徹底的にこだわるべきなのです。

だからこそ、歯の治療にはきめ細かで、適切な処置が重要になってきます。
具体的には、患者さまひとりひとりが心から納得し、安心したうえで、
それぞれの症状にもっとも適した治療が行われるということです。

ところが、

昨今、世の中では病院による患者さまの“たらいまわし”が問題となっています。
その原因は、足を運んだ病院に、治療に必要な医療機器が備わっていないことや、
治療に足る技術がないことなどがあります。

さらに、大変残念なことではありますが、なかには「医師はその場をしのぐ治療だけをすればよい」、こう考える医師が少なくないこともあります。そういった病院では、きめ細かな治療はおろか、患者さまが心から安心して治療を受けることができず、ときに難しいのです。

いま医療の世界で問われている、“患者さまと医師の信頼関係”。その問いに答えるための大前提として、われわれは「ただ治療を行うだけでは、医療とは言えない」と考えています。

では、当医院が患者さまとの信頼関係を築くために実践していることとは何か。それを、これから具体的にご紹介したいと思います。

数ある治療法のなかから、なぜ当医院がインプラントを重視しているのか。それにはどのような方法と手順があるのか。医院として、それら治療法にどのようにアプローチしているか。患者さまにとって、本当に最適な治療とは何か。

この小冊子をご覧いただき、当医院の基本方針をご理解いただければ幸いです。また気になったこと、分からないことがありましたら、どんな些細なことでもご相談下さい。患者さまに心から安心して治療を受けていただき、治療後には心から満足していただくこと。それがわれわれの願いであり、喜びなのです。

〔第1章〕 いま、なぜインプラントなのか～自分の歯に代わるもの

人の永久歯は、一度失うと、残念ながら二度とは生えてきません。失った部分に代わりの歯を補うための技術として、入れ歯やブリッジといった治療法がよく知られています。

しかしここ数十年、インプラント技術はめざましく発展し、それにより歯科治療はがらりと変わりました。インプラントによって、人は今までとほとんど変わらない「自然な歯」を、ふたたび手に入れることができるようになったのです。

では、インプラントとはどのような治療技術なのでしょうか。インプラントと入れ歯、ブリッジがそれぞれどのような治療法なのか、さらにそれぞれどのようなメリットがあるのかを見てみましょう。

(入れ歯)

失った歯の代わりとして、特によく知られているのが「入れ歯」です。
治療手順としては、まず失った部分の型をとり、人工の歯をつくります。
それをピンク色の人工床にくっつけ、バネで自分の歯ぐきにひっかけるというものです。

入れ歯のメリットには、比較的手軽に作ることができる、短時間で食べ物を噛む機能を取り戻すことができる、などがあります。

ただし入れ歯は、以下のような特徴も同時に持ち合わせています。

- ・噛む力が、健康な状態に比べて 30～40%くらいになる。
- ・硬い物を噛むとガタつく原因になり、違和感が生じやすい。
- ・食べ物が口の中にたまりやすく、健康な歯まで虫歯になりやすい。
- ・毎食後の手入れが面倒

次に「ブリッジ」です。

(ブリッジ)

ブリッジは、その名のとおり、失った部分の両隣の歯を削り、
義歯で“橋わたし”をして歯をつなくものです。
新しい部分の歯は、左右の歯に支えられて乗っかっている状態です。

メリットとしては、自分の歯と同じように咀嚼することができる、歯列の安定したつながりを回復することができる、などがあります。

ただしブリッジは、以下のような特徴も持ち合わせています。

- ・義歯と下の歯肉とのあいだに食べ物のかすがつまり、口の中が不衛生になりやすい。
- ・ブリッジを支え固定するために、両隣の健康な歯を削る必要がある。
- ・大きな力がかかることで、将来的に支えの歯を失う原因となりうる。

では次に、「インプラント」を見てみましょう。

(インプラント)

インプラントは、あごの骨に人工の歯根を埋め込み、そこに人工の歯冠を固定するものです。
埋め込む人工歯根には、おもに純チタンやチタン合金が使われます。
チタンはニッケルやクロムなどのように金属アレルギーをおこす心配がなく、拒絶反応もないため、生体によくなじむのです。
埋め込んだあとは、2～6カ月で骨と結合します。

インプラントのメリットはたくさんあります。

- ・ブリッジのように、隣の歯を削る必要がない。
- ・入れ歯のようにガタつく心配がないので、自分本来の発声や発音に戻る。
- ・噛む力は、しだいに天然の歯と同じような強さになるので、硬い物を噛むことができるようになる。
- ・食べ物、飲み物の味を美味しく感じるができる。
- ・ストレスなく、よく噛めることにより、全身的な健康にも良い影響を与える。

その他の特徴としては、

「入れ歯」「ブリッジ」と比較すると治療期間が比較的長いこと、多少費用がかかること、などが挙げられます。

また骨が極端に弱い方、歯周病、高血圧の方などは適応とならない場合があります。

以上のことを総合的に見ると、入れ歯やブリッジと比較して、インプラントは一番もとの歯に近い状態にする治療であり、かつ一番デメリットの少ない治療法であるといえます。

さらに、インプラントはさまざまなケースに対応することができます。

歯を1本だけ失った場合、失った部分に人工の歯根を1本埋め込みます。健康な歯を削ることなく、新しい歯が誕生します。

歯を何本か失った場合、今までは部分的な「入れ歯」を使った治療が一般的でした。しかしインプラントでは、失った部分に人工の歯根をそれぞれ埋め込みます。入れ歯を固定するためのバネによる違和感は、もちろんありません。

そして歯をすべて失っている場合。今までは「総入れ歯」を装着する治療が一般的でした。インプラントでは歯根を埋め込むことで、新しい歯をつくれます。食べ物が入れ歯と口腔粘膜のあいだにはさまったり、しだいに合わなくなるといった、総入れ歯によるトラブルはありません。

入れ歯からインプラントにした場合のメリットを具体的にご紹介しましょう。

- ・「入れ歯と歯ぐきのあいだに食べ物がはさまって痛みがあったが、インプラントにしてから痛むことがなくなった」
- ・「入れ歯では歯ぐきが覆われているため、食べ物を美味しく感じるができなかった。インプラントにしてから、天然の歯と変わらない感覚で食べ物を噛んだり、味わうことができるようになった」
- ・「おしゃべりすると入れ歯が動いてしまったり、また口臭がひどいのではないかと心配があり、人と会うのがおっくうだった。インプラントでは歯が固定されているため安心しておしゃべりが楽しめ、また口臭の不安もなくなった」

いかがでしょうか。

「入れ歯」「ブリッジ」「インプラント」それぞれの特徴をご紹介しましたが、これにより「インプラント治療には、現在の歯がどのような状態でも、自分の歯を取り戻すチャンスがある」ということが、お分かりいただけたかと思います。

では次に、実際の治療の流れと、当医院のインプラント治療の特徴をご紹介します。

〔第2章〕当医院がおこなうインプラント最新技術

まず、インプラント治療の一般的かつ実際的な流れを見ていきましょう。

一般審査

患者さまの全身の状態や、治療履歴などをくわしくお伺いします。
また口腔内チェックやレントゲン、CTにより、これからの治療に備えます。

前処置

虫歯や歯周病の治療をおこない、お口の中をインプラントができる状態にします。

人口歯根の埋め込み

フィクスチャーと呼ばれる人工の歯の根を、あごの骨に埋め込みます。
虫歯や抜歯の治療と同じように局所麻酔をかけますので、術中はほとんど痛みを感じません。

ここで、通常2ヵ月～6ヵ月の治癒期間を設けます。

骨とインプラントがしっかりと結合されるまでの期間であり、骨の質などにより個人差があります。
この間、必要に応じて仮の歯を入れることもあります。
しっかりと結合されたら、次の にうつります。

アパットメントの連結

アパットメントは、人工の歯の支えとなる部分。

これを、 で埋めた人工の歯根、フィクスチャーにつなげます。

人工歯の装着

インプラントを含めたお口の中全体の型をとります。

その型にしたがって人工の歯を作製し、その後 で作ったアパットメントに人工の歯を装着。

ここまでで、一般的なインプラント治療は完了です。

さらに、現在総入れ歯の方や、多くの歯を失っている方に是非おすすめしたいのが、

All-on-4(オールオンフォー)というインプラントです。

(All-on-4)

いままでは、多くの歯を失った方にインプラント治療をおこなう場合、

骨の移植をしたり、8～14本ものインプラント(歯根)を埋め込む治療が一般的でした。

そのため治療期間が長くなり、費用がかさむだけでなく

術後の腫れをはじめとする、患者さまの身体的負担も大きかったのです。

しかし最新の技術 **All-on-4** では、最少 4 本のインプラント(歯根)ですべての歯を支えることが可能です。

骨を移植する必要はありません。また埋め込むインプラントの数が少ないため、

抜歯からインプラントの埋め込み、仮歯の装着まで、最短1日でおこなうことができます。

手術したその日の夜には、新しいインプラントで支えられた仮歯で食事をとることができます。

あごの骨の状態によって本数が多くなる場合がありますので、担当医にご相談下さい。

当医院では、一般的なインプラント ～ 、または **All-on-4** といった治療を、

経験豊富な医師がていねいに、安全に、そして素早くおこないます。

また電動麻酔注射器、ウォーターレーザーなどのさまざまな「無痛治療」を採用しております。

これにより、**手術にともなう痛みや腫れを、最小限に抑えることができます。**

(治療後のケア)

インプラント治療終了後は、適切なホームケアと定期的な検診をおすすめしています。

とはいっても、手間はかかりません。検診時に担当医師がチェックするのは、以下の点です。

・歯の汚れ

歯みがきが的確にできているかを見ます。ていねいにブラッシングしていても、汚れが除ききれない場合があります。インプラントの周囲をていねいにチェックし、汚れが引きおこす歯周炎などを予防します。

・噛み合わせ

噛み合わせがうまくいっていないと、咀嚼がうまくできません。
また異常な力がかかっていると、歯が抜けてしまうことがあります。

このほか、歯肉炎、歯周病(歯槽膿漏)、その他お口の状態などをチェックします。
定期的なケアをすることで、もともと長持ちするインプラントは、さらに長持ちするようになります。

(第3章)当医院のインプラント治療

～最高品質・安心のインプラントを、お約束します。

(痛くないインプラント)

これまで、インプラント治療の特徴と、実際の流れをご紹介しました。
さて、どのようにお感じになりましたか？

「あごの骨に人工の歯根を埋め込む」「骨と結合するまで待つ」など、なにやらひどく痛そうで、大がかりな治療のように思われたのではないのでしょうか。
実際、多くの患者さまから「痛むのか」「腫れるのか」といったご質問を数多くいただきます。

どうぞご安心ください。

基本的に、インプラント治療の際は局所麻酔をおこないますので、痛みをほとんど感じません。
また先にもご紹介したように、電動麻酔注射器、ウォーターレーザーなど、当医院ではさまざまな「無痛治療」を採用しております。

実際、当医院で治療を受けた90パーセントの方が「ほとんど痛みを感じなかった」、
残りのほとんどの方が「ほんの少し痛みを感じた程度だった」とおっしゃいます。

(ウォーターレーザー)

ウォーターレーザーとは、現在アメリカでもっとも注目される最新のレーザー治療機器です。
レーザーによって加速された水(ウォータージェット)により切削・切除をおこなうものですが、
水がレーザーの熱を冷ますはたらきをするため、生体組織に熱による侵害を与えることなく治療
ができます。

これにより、ほとんどの治療で麻酔が不要なほど、痛みを感じません。

今までの歯を削る機械には、削ったあとが汚れやすく、亀裂が入りやすいという欠点がありまし
たが、ウォーターレーザーでは健康な歯に汚れやヒビを入れることなく治療が可能です。

高額なため、アメリカでも導入している歯科医院はごくわずか。

日本ではさらに導入率が低い機器です。

しかし実際の痛みがごくわずかとは言え、治療の際の不安はまた別物です。
治療器具の、キーンという音が嫌だ、不快だという方。
歯や歯茎に触られると、痛みを感じやすいという方。
あるいは、とにかく治療が怖くて、不安を感じるという方。

そんな方々のために、当医院では、**静脈鎮静法**という麻酔を使用した治療もおこなっております。

静脈鎮静法とは、治療の際に使用される麻酔法のひとつです。
麻酔時には、患者さまのご様子を見ながら、点滴にて少しずつ体内に薬液を入れていきます。

この麻酔により、うとうとと眠くなりますが、完全に意識がなくなることはありません。こちらの呼びかける声も聞こえますし、口をあける程度に体を動かすことも、会話することも可能です。
そしてうとうとしている間に治療は完了するので、痛みをまったく感じません。
また治療時間も短く感じられます。
わずかな痛みも避けたい、不安を感じることなくインプラントを終えたいという方は、お気軽にご相談下さい。

あらかじめ担当医が全身の状態についておうかがいします。健康状態、持病などによって、適応できない場合があります。

(最高の品質、安心の価格)

患者さまのなかには、治療前にインプラントについて熱心にお調べになる方もいらっしゃいます。
これは、大変けっこうなことだと思います。
歯はご自分の財産ですから、こだわって当然なのです。

しかしそんな方でもあまりご存知ないのが、インプラント治療法に使われる材料は、世の中に100種類以上存在するという事です。
専門的な話でもあるため、ふつうは医師から患者さまにこの点をアピールすることはありません。
ですがわれわれは、それだけ多くの種類があるということだけでも、ぜひ患者さまに覚えておいてほしいのです。

なぜなら、材料の種類が数多くあるということは、正規品や正規品でないものも混在しているということ。つまりインプラント治療の“質”も、ピンからキリまで、実にさまざまということなのです。

当医院のこだわりのひとつは、**最高品質**の材料を使うということ。

正規品であることはもちろん、現在使われているなかでも最高級のインプラント材料を使用し、さらにそのなかから個々の患者さまに本当に適したものを厳選して治療にあたります。

当医院で使用するインプラント材料には、以下のようなものがあります。

少し専門的になりますが、いかに品質の良いものかをお分かりいただけるでしょう。

アストラテック(アストラゼネカ社)

生体親和性に優れ、長期間安定して使用できる素材である純チタンを用いたインプラントです。現在その研究開発力と長期安定性は世界中で高い評価を得ています。日本国内はもとより、海外でも多くの医院が採用していますので、海外出張時のトラブル時にも最寄りの取り扱い専門医をご紹介します。

ブローネマルク(ノーベル・バイオケア社)

世界初のインプラントであるため、もっとも長い臨床実績があり、最高の信頼性を誇るインプラントです。世界シェアはトップクラスで、世界 50 カ国以上、1000 万人以上の患者さまに使われています。そのためバリエーションに富み、細くて短いものから太くて長いものまで 40 種類。さらに 10 年間の保証システムがあります。アストラテック同様、海外出張時のトラブル時にも最寄りの取り扱い専門医をご紹介します。

スクリューベント(ジマー社)

インプラントの表面をハイドロキシアパタイトでコーティングし、かつ結晶度が非常に高いため、骨との親和性が良いのが特徴です。インプラントを埋め込む場所の骨が足りない場合や、骨や人工の移植材を移植してあごの骨を広げる処置(GBR)をする場合に使います。

スイスプラス(ジマー・デンタル社)

アメリカで開発されたインプラントですが、本家スイスのストローマン社を越えられるようにとスイスプラスの名前が付けられています。表面処理にハイドロキシアパタイトのコーティングがされており、骨との結合を促進しています。そのため治療期間が比較的短く、ケースによっては即時加重も可能なインプラントシステムとなっています。

美しさを追求する方のためのジルコニア・インプラント

インプラントの上にかぶせる歯の素材で審美性を追求する場合、今までは一般的にオールセラミック性のものが使われてきました。しかし近年、さらに美しいジルコニア・インプラントが注目を浴びています。白い輝きと透明感で、審美性に非常に優れています。

(適正な価格、安心の保障)

いくら最高の材料を使っているといっても、法外な価格では話になりません。
私たちは、患者さまに安心して治療を受けていただけるよう
現在考える最高の技術と材質を、適正な価格でご提供します。

また検診にいらしているにもかかわらずインプラントにトラブルが発生した場合、
インプラント使用期間に応じた保障制度がございます。

インプラント使用 3 年以内であれば当医院の 100 パーセント負担にて、
また 4 年経過以降は段階的に、インプラントのやり直しや、他の治療をいたします。
ブローネマルクのインプラント体は、完全 10 年保障です。

(充実、そして清潔第一の設備)

さらに当医院が重視しているのは、院内で総合治療が可能である、ということ。
患者さまをあちらからこちらへ行かせるような“たらいまわし”をしないために、
歯の治療に必要な最新の機器を完備しております。

例えば CT デジタルエックス線。

歯科医院全体における CT の普及率は、わずか 1 % です。

CT を備えているということは、CT を撮るために別の病院へ行く、そんなわずらわしさが無いということ。つまり、**院内ですべての診療をおこなうことができるのです。**

さらにこの CT は、他社が備えるすべての機能を持っています。

これにより、従来のレントゲンでは知り得なかった奥行きがはっきりと分かるため、骨の幅、厚みを正確に知ることができるようになりました。

インプラント手術をより正確に、特に難易度の高い症例の診断も当医院で行うことができるようになったのです。

また今までのフィルム撮影機に比べて放射線が少なく、患者さまの体にやさしい機器でもあります。

また忘れられがちですが、病院として何よりも重要なのは、清潔であること。
われわれは院内感染対策にも、万全をつくしています。

当然、紙エプロンや紙コップ、グローブなどはすべて使い捨て。

また使用した器具は、ブラッシングを超音波洗浄器にて洗浄し、その後薬剤で消毒し、外気に触れないよう、すぐに滅菌パックへ入れて密封します。

さらに密封したパックは、にオートグレイブという高温高圧蒸気にあて、細菌やウイルスを死滅させます。

ただ、消毒を徹底していることによって、どうしても院内は歯科特有の薬剤のにおいが鼻につきます。

患者さまのなかには、このにおいが苦手だという方が少なからずいらっしゃいます。

特に小さなお子さまはにおいを敏感に感じとり、緊張してしまうようです。

そこで、治療を前に緊張した患者さまに少しでもリラックスしていただけるよう、院内にはアロマセラピストが調合したアロマがかすかに漂っています。

その香りは、患者さまによって好き嫌いがないよう、数種類のアロマがブレンドされたもの。

老若男女を問わず、患者さまから「癒される」「ほっとする」とご好評をいただいております。

(第4章) 私たちが、大事にしていること

～すべては、患者さまにとって最適な治療のために～

ここまで、さまざまな治療について、当医院のこだわりをご紹介しました。

最新の治療法であるインプラント、そしてその実際や当医院で採用している最新の技術と設備など。

しかし冒頭でもお話しましたように、治療のうえで何よりも大切なことは、“患者さまと医師の信頼関係”です。

信頼関係を築くために、医師は患者さまひとりひとりの話をしっかりと聞き、理解し、それぞれに最適な治療をおこなうこと。

一方で、患者さまには治療に関することをきちんと理解し、安心して頂くことが大切です。

それゆえに当医院では、**完全担当医制**を採用しています。

医師を選ぶことができない大学病院と異なり、当医院では、患者さま自らに医師を選んでいただくことが可能なのです。

そして院長を含めた各医師は、最初から最後まで、責任をもって治療にあたります。

また毎日忙しい方にこそ、心に余裕をもって治療を受けていただきたい。

平日は20時まで受付、土日も診療を行っているのも、そうした思いからです。

いま、当医院が行っていること、そしてその背景にある理念のすべては、
“患者さまにとって最適な治療のために”ということ。

そしてこれからも、われわれは、技術向上に向けた努力を怠りません。
つねに院長自ら率先して学会や研修に足を運び、最新の技術と情報を学んでいます。
それらの学会や研修で取得した修了認定書は、ホームページ等で開示させていただいております。

いま、ご自分の歯がどのような状態であっても、決してあきらめないで下さい。
他院で難しいとされる症例にも、数多くの対応実績がございます。
患者さまと医師がお互いに納得いくまで話し合いながら、
健康な歯で噛むことができる生活を、あなたの一生の財産を、ともに取り戻していきましょう。

理事長 原田泰光

愛知学院大学歯学部卒業
南青山菅原矯正歯科勤務
都内医療法人副院長
はらだ歯科クリニック院長
医療法人社団泰志会理事長

【ひとこと】

できるだけ多くの学会などに参加し、最新技術で
治療を行います。
患者さまの歯の健康を守るため、技術を磨いてい
きます。

はらだ歯科クリニック
京急蒲田インプラントセンター

03 - 3736 - 5556

平日（20:30まで）土日・祝日診療（19:00まで）

